

BUSINESS
REPORT
2023

第50期 中間報告書

第2四半期連結累計期間
(2023年1月1日～2023年6月30日)



クリエートメディック株式会社

証券コード 5187

からだにやさしい
未来の医療を築く





代表取締役社長 谷口英彦

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、2024年に設立50周年を迎えます。当社の経営理念「からだにやさしい未来の医療を築く」の実現と、ステークホルダーであります株主様、取引先様、従業員の期待に応えることで、当社の持続的な成長と更なる企業価値向上に努めてまいります。

さて、当社第50期の中間報告書をお手元にお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

■国内の経済環境と医療機器業界

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が2023年5月に「5類感染症」に引き下げられたことにより、社会活動が正常化し、医療供給体制が回復へ向かいました。一方、ロシアによるウクライナ侵攻は、未だ収束の見込みが立たない状況にあります。また、欧米の政策的な利上げによる急激な円安、原油価格や物価の高騰により、先行き不透明な状況が続いております。

■当第2四半期連結累計期間の営業の概況と業績

このような状況のもと、当社グループは、営業面ではWEBを活用した営業活動、オンラインセミナーなどのマーケティング活動を展開し、さらに、医療機関等の訪問規制が緩和されたことを受けて、営業活動も徐々に再開いたしました。

開発面では、中期経営計画の重点戦略分野である泌尿器系・消化器系の製品ラインナップ充実に向けた新製品開発に注力するとともに、国内外の薬事規制や欧州の医療機器規則の強化に対応したライセンスの維持、新規認証取得にも対応してまいりました。このような状況のなか2022年12月に発売された泌尿器系の新製品である先端開口フォーリーカテーテルは順調に売上を拡大しております。

生産面につきましては、新型コロナウイルスの感染防止策を徹底するほか、操業停止等のリスクに備えて生産品目の分散化を図るとともに、原材料や仕入品の安定的な確保を目指して、新たな調達ルートを開拓いたしました。

以上により、売上高につきましては、自社販売は一部製品の欠品の影響により減少したものの、海外販売およびOEM販売の好調により、全体では増加となりました。

利益面では、自社販売において値上げを実施したものの、円安による輸入仕入コストの上昇や物流費用の高止まりなどにより、売上原価が上昇したため、営業利益は減少となりました。さらに、為替差益の減少により営業外収益が減少したため、経常利益も減少いたしました。

一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、繰延税金資産の計上により増加いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,025百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益335百万円（前年同期比9.5%減）、経常利益371百万円（前年同期比21.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益316百万円（前年同期比18.6%増）となりました。

次に売上の概況を販売形態別にご報告いたします。

自社販売は、消化器系の胃瘻関連製品の販売活動強化により売上が増加し、泌尿器系製品のテューマースtentは堅調に推移しましたが、フォーリートレイキットの欠品の影響で低調な実績となったことにより、売上高3,292百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

海外販売のうち、中国販売は泌尿器系製品が代替手技の普及等により減少いたしました。輸出販売は欧州向けの泌尿器系・消化器系製品が好調であったため、売上高2,028百万円（前年同期比9.1%増）となりました。

OEM販売は、検査・手術件数の回復を背景に血管系製品が好調であり、売上高704百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

■2023年12月期の見通し

上半期につきましては、売上高は計画を上回ったものの利益は計画を下回る結果となりました。

下半期につきましては、原材料価格の高騰や物流コストの高止まりなどの課題は残りますが、販売面では新製品発売や好調な海外販売が牽引すると予想されるため、通期の業績予想は当初の予想値を変更せず、据え置きとさせていただきます。

今後の業績向上に全社一丸となり邁進いたす決意でありますので、株主の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■配当方針

当社グループは、利益還元を経営の重要施策と位置付け、今後の収益力向上のために内部留保による経営基盤の強化を図りつつ、安定的かつ継続的な配当を実施してまいり所存であります。

当期の中間配当金につきましては、1株につき17円とさせていただきます。また、年間配当金につきましては、当中間配当金17円を含め、37円を予定しております。

業績の推移

在外子会社等の収益および費用は、従前、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、2023年（第50期）の第1四半期より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更したため、2022年（第49期）は変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

区 分		2021年 (第48期)	2022年 (第49期)	2023年 (第50期)
売 上 高(百万円)	第2四半期	5,479	5,921	6,025
	通 期	11,698	12,326	—
営 業 利 益(百万円)	第2四半期	487	371	335
	通 期	866	741	—
経 常 利 益(百万円)	第2四半期	540	470	371
	通 期	1,009	834	—
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	第2四半期	408	266	316
	通 期	660	482	—
総 資 産(百万円)	第2四半期	17,926	18,979	19,292
	通 期	18,075	18,865	—
純 資 産(百万円)	第2四半期	13,822	14,948	15,237
	通 期	14,220	14,723	—
フリーキャッシュ・フロー(百万円)	第2四半期	514	852	△187
	通 期	663	522	—
1株当たり当期純利益(円)	第2四半期	44.91	29.33	34.78
	通 期	72.61	53.00	—
1株当たり純資産額(円)	第2四半期	1,519.85	1,642.80	1,673.78
	通 期	1,563.55	1,618.10	—
1株当たり配当金(円)	第2四半期	17	17	17
	通 期	37	37	—

- (注) 1. フリーキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローおよび投資活動によるキャッシュ・フローの合計額を表示しております。
2. 2023年（第50期）の通期につきましては、現在期中により「—」で表示しております。

四半期連結財務諸表

在外子会社等の収益および費用は、従前、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第50期の第1四半期より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更したため、「第49期第2四半期」および「第49期」は変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

■ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	第50期第2四半期 (2023年6月30日現在)	第49期第2四半期 (2022年6月30日現在)	第49期 (2022年12月31日現在)
	金 額	金 額	金 額
(資産の部)			
流動資産	12,460	12,242	12,128
現金及び預金	4,060	4,978	4,305
受取手形	195	—	243
電子記録債権	1,254	1,269	1,301
売掛金	1,849	—	1,978
受取手形及び売掛金	—	2,002	—
商品及び製品	2,267	1,831	1,898
仕掛品	897	870	857
原材料及び貯蔵品	1,220	895	1,092
その他	719	403	456
貸倒引当金	△5	△8	△5
固定資産	6,832	6,737	6,736
有形固定資産	5,309	5,155	5,162
建物及び構築物	2,468	2,554	2,435
機械装置及び運搬具	443	402	416
土地	1,643	1,643	1,643
建設仮勘定	220	115	111
その他	533	439	555
無形固定資産	597	701	636
借地権	174	177	165
その他	423	523	471
投資その他の資産	925	880	937
投資有価証券	451	511	547
繰延税金資産	423	300	327
その他	49	68	61
資産合計	19,292	18,979	18,865

期 別 科 目	第50期第2四半期 (2023年6月30日現在)	第49期第2四半期 (2022年6月30日現在)	第49期 (2022年12月31日現在)
	金 額	金 額	金 額
(負債の部)			
流動負債	2,813	2,748	2,816
支払手形及び買掛金	504	499	487
電子記録債務	227	192	319
短期借入金	800	800	800
未払法人税等	67	101	129
賞与引当金	48	67	97
役員賞与引当金	8	8	17
その他	1,157	1,079	965
固定負債	1,241	1,283	1,325
退職給付に係る負債	1,093	1,207	1,136
資産除去債務	9	3	9
長期未払金	34	66	66
その他	103	5	112
負債合計	4,055	4,031	4,141
(純資産の部)			
株主資本	13,345	13,146	13,207
資本金	1,461	1,461	1,461
資本剰余金	1,486	1,486	1,486
利益剰余金	10,903	10,708	10,769
自己株式	△506	△509	△509
その他の包括利益累計額	1,891	1,801	1,516
その他有価証券評価差額金	58	37	55
為替換算調整勘定	1,786	1,794	1,409
退職給付に係る調整累計額	47	△30	51
純資産合計	15,237	14,948	14,723
負債・純資産合計	19,292	18,979	18,865

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 有形固定資産の減価償却累計額 6,901百万円

■ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	第50期第2四半期 (2023年1月1日~ 2023年6月30日)	第49期第2四半期 (2022年1月1日~ 2022年6月30日)	第49期 (2022年1月1日~ 2022年12月31日)
		金額	金額	金額
売上高		6,025	5,921	12,326
売上原価		3,417	3,296	6,931
売上総利益		2,607	2,624	5,395
販売費及び一般管理費		2,271	2,253	4,654
営業利益		335	371	741
営業外収益		46	104	103
営業外費用		10	5	9
経常利益		371	470	834
特別利益		25	18	28
税金等調整前四半期(当期)純利益		396	489	863
法人税、住民税及び事業税		175	174	404
法人税等調整額		△94	48	△24
四半期(当期)純利益		316	266	482
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益		316	266	482

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たりの四半期純利益(期中平均発行済株式数による) 34円78銭

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	第50期第2四半期 (2023年1月1日~ 2023年6月30日)	第49期第2四半期 (2022年1月1日~ 2022年6月30日)	第49期 (2022年1月1日~ 2022年12月31日)
		金額	金額	金額
営業活動による キャッシュ・フロー		71	625	478
投資活動による キャッシュ・フロー		△259	227	43
財務活動による キャッシュ・フロー		△194	△192	△356
現金及び現金同等物に 係る換算差額		117	274	122
現金及び現金同等物の 増減額		△264	934	288
現金及び現金同等物の 期首残高		3,702	3,413	3,413
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高		3,437	4,348	3,702

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結株主資本等変動計算書

当第2四半期連結累計期間(2023年1月1日~2023年6月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,461	1,486	10,769	△509	13,207	55	1,409	51	1,516	14,723
第2四半期連結累計期間中の変動額										
剰余金の配当			△181		△181					△181
親会社株主に帰属する四半期純利益			316		316					316
自己株式の取得				△0	△0					△0
自己株式の処分		△0		3	3					3
株主資本以外の項目の第2四半期連結 累計期間中の変動額(純額)						2	376	△4	375	375
第2四半期連結累計期間中の変動額合計	-	△0	134	3	138	2	376	△4	375	513
当四半期末残高	1,461	1,486	10,903	△506	13,345	58	1,786	47	1,891	15,237

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別四半期財務諸表（要旨）

■ 四半期貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別	第50期第2四半期 (2023年6月30日現在)	第49期第2四半期 (2022年6月30日現在)	第49期 (2022年12月31日現在)
	金額	金額	金額	金額
(資産の部)				
流動資産		8,141	7,538	7,660
固定資産		6,178	6,279	6,251
有形固定資産		3,025	3,042	3,044
無形固定資産		391	496	445
投資その他の資産		2,761	2,739	2,762
資産合計		14,319	13,817	13,911
(負債の部)				
流動負債		2,472	2,441	2,398
固定負債		1,167	1,167	1,199
負債合計		3,639	3,609	3,598
(純資産の部)				
株主資本		10,621	10,171	10,257
資本金		1,461	1,461	1,461
資本剰余金		1,486	1,486	1,486
利益剰余金		8,179	7,732	7,819
自己株式		△506	△509	△509
評価・換算差額等		58	37	55
その他有価証券評価差額金		58	37	55
純資産合計		10,679	10,208	10,313
負債・純資産合計		14,319	13,817	13,911

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別	第50期第2四半期 (2023年1月1日~ 2023年6月30日)	第49期第2四半期 (2022年1月1日~ 2022年6月30日)	第49期 (2022年1月1日~ 2022年12月31日)
		金額	金額	金額
売上高		4,874	4,823	9,848
売上原価		3,236	3,067	6,513
売上総利益		1,638	1,756	3,334
販売費及び一般管理費		1,836	1,851	3,727
営業利益		△198	△95	△392
営業外収益		718	572	1,183
営業外費用		5	4	7
経常利益		514	472	783
特別利益		-	4	4
税引前四半期(当期)純利益		514	477	788
法人税、住民税及び事業税		78	58	128
法人税等調整額		△105	2	2
四半期(当期)純利益		542	416	657

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期株主資本等変動計算書

当第2四半期累計期間（2023年1月1日～2023年6月30日）

（単位：百万円）

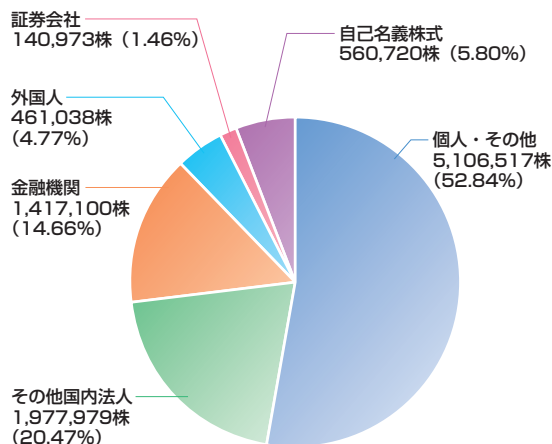
	株主資本										評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計					
当 期 首 残 高	1,461	1,486	0	1,486	150	4,900	2,769	7,819	△509	10,257	55	55	10,313
第2四半期累計期間中の変動額													
剰余金の配当								△181		△181			△181
四半期純利益							542	542		542			542
自己株式の取得									△0	△0			△0
自己株式の処分			△0	△0					3	3			3
株主資本以外の項目の第2四半期累計期間中の変動額（純額）											2	2	2
第2四半期累計期間中の変動額合計	-	-	△0	△0	-	-	360	360	3	363	2	2	366
当 四 半 期 末 残 高	1,461	1,486	0	1,486	150	4,900	3,129	8,179	△506	10,621	58	58	10,679

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (2023年6月30日現在)

- 発行可能株式総数 30,000,000株
- 発行済株式の総数 9,664,327株
- 株主数 6,579名

株式分布状況



役員 (2023年9月7日現在)

代表取締役会長	佐藤正浩
代表取締役社長	谷口英彦
取締役専務執行役員	赤岡洋三
取締役執行役員	遠藤晋一
取締役執行役員	秋元克也
取締役執行役員	今澤修
取締役常勤監査等委員	橋井敦
取締役監査等委員	原田彰 (社外取締役)
取締役監査等委員	磯貝和敏 (社外取締役)
取締役監査等委員	日暮良一 (社外取締役)

会社の概要 (2023年6月30日現在)

- 本社所在地 〒224-0037 横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号
- 設立 1974年8月12日
- 資本金 1,461,735,390円
- 事業所 北海道工場、水戸事業所、研究開発センター、9営業拠点（札幌、仙台、さいたま、東京、横浜、名古屋、大阪、広島、福岡）

- (注) 1. 2023年4月1日をもって、神奈川営業所と多摩営業所を統合し、新たに横浜支店を開業いたしました。
2. 千葉営業所は営業体制の効率化を目的に管轄テリトリーを東京支店に移管し、2023年3月31日をもって閉鎖いたしました。

- 連結子会社 大連クリエート医療製品有限公司
クリエート国際貿易（大連）有限公司
九州クリエートメディック株式会社
ベトナムクリエートメディック有限会社

製品紹介

クリエートメディックでは、安全性が高く、違和感や苦痛が少ない素材であるシリコンを用いた製品を幅広く取り扱っております。また、高度な技術を背景に医師や看護師など医療従事者とともに、医療現場の様々なニーズを取り込んだ製品開発をおこない、患者様のQOL（Quality of life）の向上を目指しております。

泌尿器系



留置導尿関連製品

全身麻酔による手術後など排尿が困難な場合に、尿道からカテーテルを挿入して膀胱内の尿を排出します。また、持続的な排尿が可能です。



腎瘻（じんろう）造設術関連製品

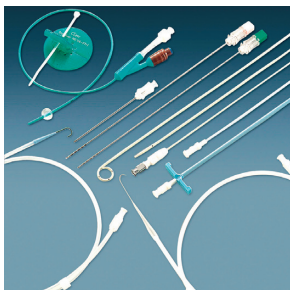
尿管の通過障害による腎後性腎不全などのときに、経皮的に腎臓にカテーテルを留置し排尿することを目的とします。



自己導尿関連製品

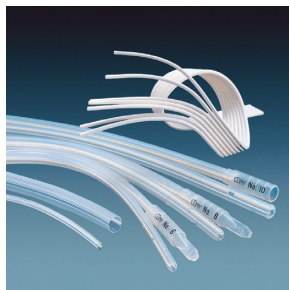
排尿障害などを起こした場合に、患者様が自らまたは介護の方が一定時間毎に尿道にカテーテルを挿入して排尿するためのカテーテルです。

外科系



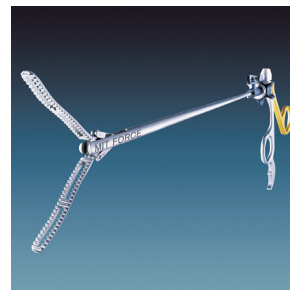
PTCD関連製品

胆管や胆嚢にたまった胆汁を経皮的に排出するキットで、手技に必要な器具が滅菌済トレイに入っています。また、確実性の高い穿刺を可能とする超音波穿刺針を用いて、経皮的にカテーテルを留置します。



ドレーンチューブ

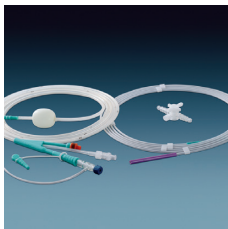
手術後の傷口などにたまった血液や尿などを、外に排出するためのドレーンチューブです。ドレーンから排泄される体液の色や状態をチェックすることで、術後の経過や異常を発見することができます。



腹腔鏡下内視鏡手術用製品

より低侵襲を追求した細径の鉗子で、開腹することなく腹腔鏡下で手術をおこなう際に使用します。

消化器系



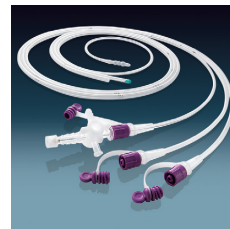
イレウス関連製品

イレウス（腸閉塞）の患者様に、鼻または肛門からカテーテルを挿入して、腸内にたまった内容物を吸引・減圧するために使用します。また、挿入したカテーテルに造影剤を入れ、患部の造影をおこないます。



胃瘻（いろいろ）造設術関連製品

脳血管障害などで自発的に栄養を摂取できないときに、経皮的に胃にカテーテルを挿入して栄養を投与します。



栄養投与関連製品

開口障害や全身衰弱が著しく食物の摂取が不可能なときに、鼻から胃内や腸に挿入して栄養投与をおこなうものです。

麻酔・呼吸器系



麻酔関連製品

術後や末期がんの患者様などの「疼痛管理」に使用される携帯型ディスポーザブル注入ポンプです。注入量は長時間使用しても安定しており、術後の患者様の痛みを和らげる短期的な使用に威力を発揮します。



呼吸器関連製品

気道の確保が必要で気管挿管が困難な患者様に、気管とその上部の皮膚を切開して挿入する気管切開チューブです。

看護・検査系ほか



看護関連製品

あらゆる尿路ストマー装置や、尿失禁用カテーテルに接続することができ、大腿部・下腿部に固定することで、無理なく社会生活をおくることが可能です。



生検針

生体から細胞・組織を針を刺して採取したり、吸引して採取する針です。

株主メモ

- **事業年度** 毎年1月1日から12月31日まで
- **定時株主総会** 毎年3月下旬
- **定時株主総会の基準日
期末配当の基準日** 毎年12月31日
- **中間配当の基準日** 毎年6月30日
- **公告方法** 電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法といたします。
- **株主名簿管理人
(特別口座の口座管理機関)** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- **郵便物送付先
(電話照会先)** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話0120-782-031 (フリーダイヤル)

(お知らせ)

- **住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **未払配当金の支払いについて**
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **特別口座について**
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。
特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



クリエートメディック株式会社

本 社

〒224-0037 横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号

TEL (045) 943-2611 URL <https://www.createmedic.co.jp>